

平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 における大阪市立佃中学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成28年4月から7月末までの期間に、2年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第2学年、中等教育学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年の原則として全生徒
- ・大阪市立佃中学校では、2年生 183名

3 調査内容

・生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（以下、「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）

中学校調査では、以下の種目を実施する。

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ（※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択）

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「生徒質問紙調査」という。）を実施する。

平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立佃中学校

生徒数

183

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	28.24	28.09	43.23	53.21		79.79	8.04	186.58	20.87	42.07
大阪市	29.29	27.51	40.96	51.76	411.55	83.43	8.09	191.49	20.42	41.25
全国	28.91	27.46	43.06	51.93	391.72	86.24	8.03	194.69	20.59	42.13
女子	23.40	25.89	46.49	50.69		56.56	8.72	168.26	12.06	51.49
大阪市	24.15	23.41	44.39	46.77	303.34	57.97	8.92	167.47	12.97	49.20
全国	23.75	23.48	45.46	46.60	288.51	58.80	8.83	168.28	12.85	49.56

結果の概要

実技に関する調査では、全部で8種目あり、「上体起こし」では男子は0.63、女子は2.41、「反復横とび」では男子は1.28、女子は4.09、と男女とも全国平均を上回った。「長座体前屈」「50m走」「ハンドボール投げ」では男子が、「長座体前屈」「50m走」「立ち幅とび」では女子が全国平均、または大阪市平均を上回った。しかし、男女とも「握力」「20mシャトルラン」については、大阪市平均、全国平均を下回った。

体力合計点では、男子は大阪市平均は0.82上回ったが、全国平均は0.06下回った。女子は大阪市平均は2.29上回り、全国平均も1.93上回った。男子は全国平均近く、女子は全国平均も上回っている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

★これまでの取り組み

- ・体育の授業や部活動では、体力の保持増進に努めた。
- ・学級ボールを配置し、昼休みは運動場で体を動かすことをしている。
- ・「総合的な学習の時間」や学級活動の時間を利用し、学級対抗で、室内オリンピックや水泳大会、

球技大会を行い、楽しみながら学級の団結力を高めたり、体力の保持増進に努めた。

- ・生徒質問紙より保健体育の授業を工夫することで生徒が楽しめていた。
また、規則正しい日常生活をし、健康にも留意している。

★今後取り組むべき課題

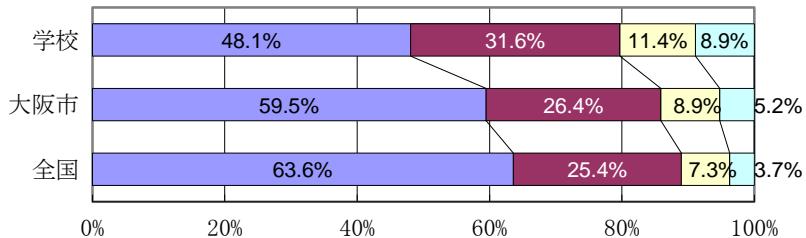
- ・保健体育の授業だけでなく、卒業後も体を動かすことの楽しさがわかる生涯スポーツなどを取り入れる。
- ・昼休みなど、運動場での遊びを通し体力の向上を図る。
- ・あらゆる機会を利用して、運動やスポーツの大切さを知らせる。

運動やスポーツについて（男子）

質問番号	質問事項
------	------

1

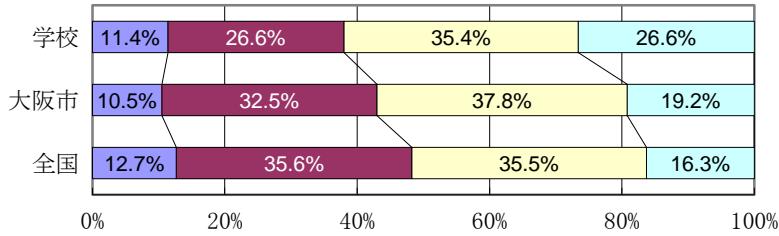
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。



- 好き
- やや好き
- ややきらい
- きらい

2

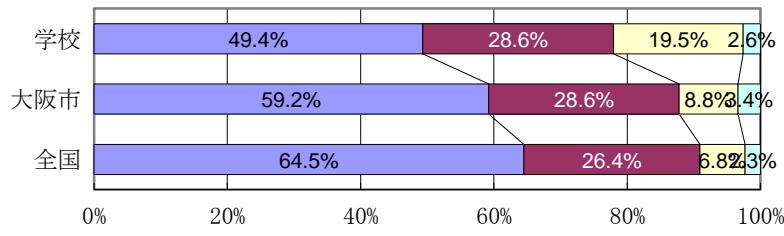
自分の体力に自信がありますか。



- 自信がある
- やや自信がある
- あまり自信がない
- 自信がない

3

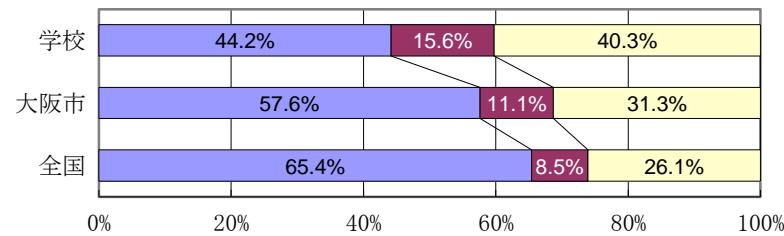
あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ものですか。



- 大切
- やや大切
- あまり大切ではない
- 大切ではない

4

中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



- 思う
- 思わない
- 分からない

成果と課題

「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について79.7%の生徒が肯定的に回答したが大阪市の平均より6.2%下回った。

しかし、自分の体力に自信がある生徒は、38.0%であり、卒業後もスポーツをする時間を持ちたい生徒は59.8%であり、生涯スポーツの大切さ、健康につながる大切さを指導する必要がある。

今後の取組

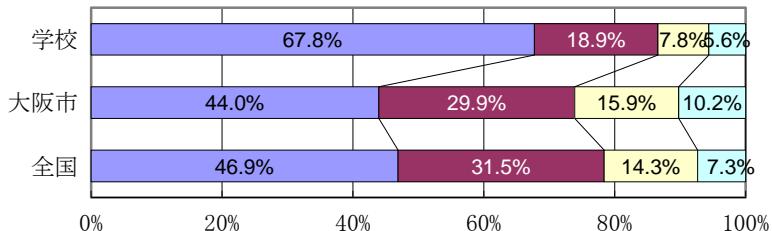
運動やスポーツが好きな生徒が多いことから、より運動の楽しさを味わわせ、運動に親しむ機会をできる限り多く設ける。

運動やスポーツについて（女子）

質問番号	質問事項
------	------

1

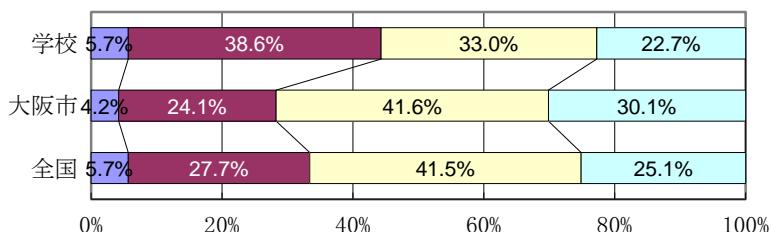
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。



- 好き
- やや好き
- やややきらい
- よりやきらい

2

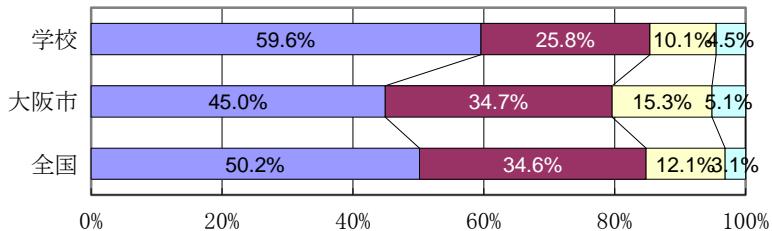
自分の体力に自信がありますか。



- 自信がある
- やや自信がある
- やややきらい
- よりやきらい

3

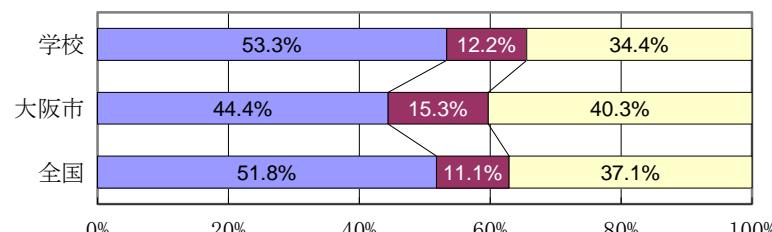
あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか。



- 大切
- やや大切
- やややきらい
- よりやきらい

4

中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



- 思う
- 思わない
- やややきらい
- 分からない

成果と課題

「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について86.7%の生徒が肯定的に回答し、全国平均より8.3%上回った。

また、運動やスポーツが大切にしている生徒は、85.4%であり、卒業後もスポーツをする時間を持ちたい生徒は65.5%であり、生涯スポーツの大切さ、健康につながる大切さをより理解させる必要がある。

今後の取組

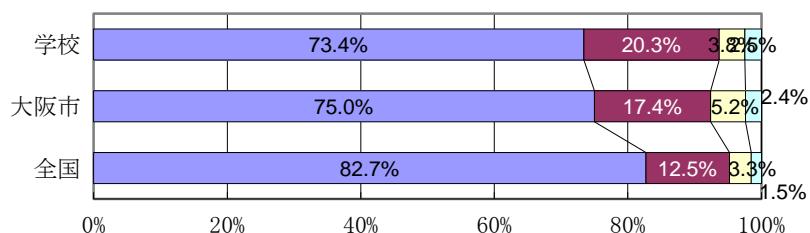
運動やスポーツが好きで、大切にしている生徒が多いことから、より運動の楽しさを味わわせ、運動に親しむ機会をさらに設ける。

ふだんの生活について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

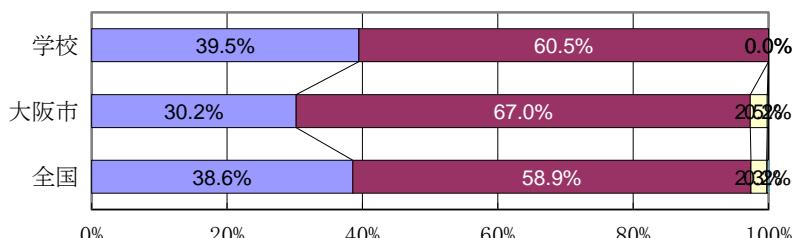
6

朝食は毎日食べますか。
(学校が休みの日も含める)



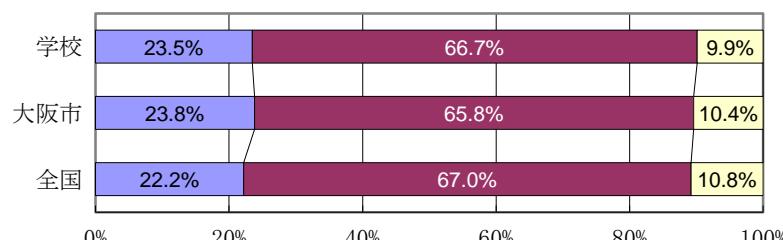
7

夕食は毎日食べますか。
(学校が休みの日も含む)



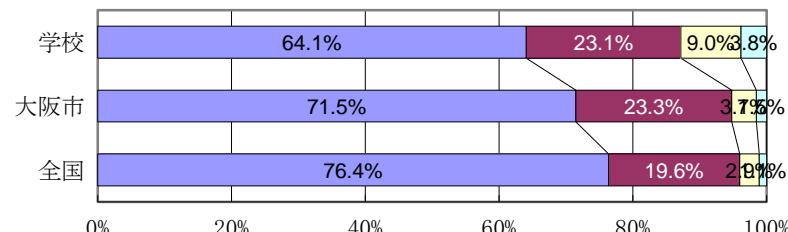
8

毎日どのくらい寝ていますか。



13

あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

朝食は、93.7%、夕食は100%の生徒が食べており、大阪市、全国平均を上回っている。また、睡眠も6時間以寝ている生徒が90.2%おり、基本的な生活習慣などはできている。

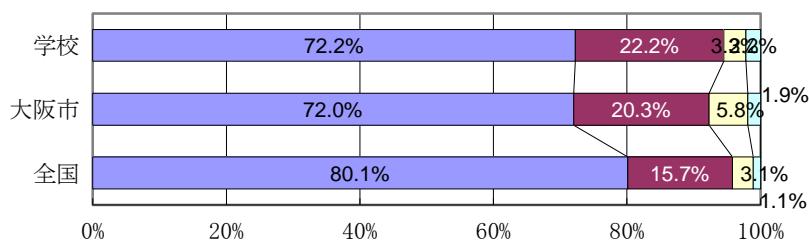
今後の取組

「あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。」の項目に87.2%の生徒が肯定的に回答したものの、健康を維持するためにスポーツが大切であることをもう少し理解する必要がある。

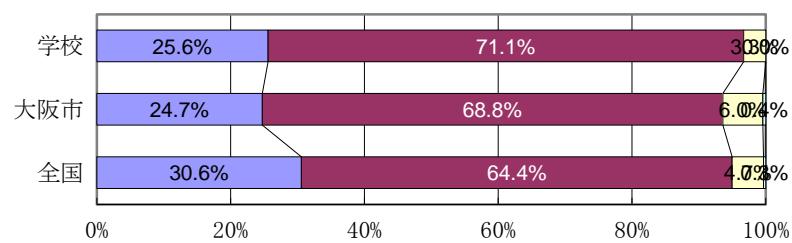
ふだんの生活について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

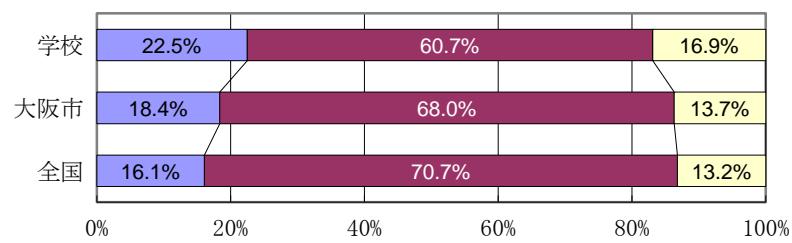
6
朝食は毎日食べますか。
(学校が休みの日も含める)



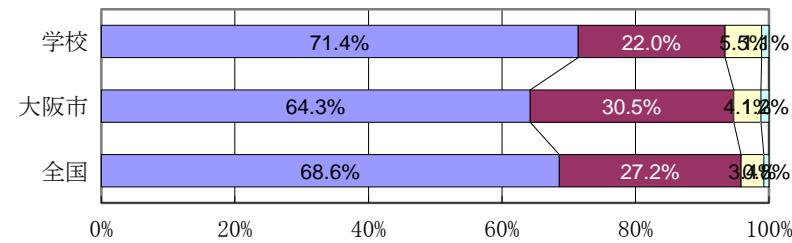
7
夕食は毎日食べますか。
(学校が休みの日も含む)



8
毎日どのくらい寝ていますか。



13
あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

朝食は、94.4%、夕食は96.7%の生徒が食べており、大阪市、全国平均を上回っている。また、睡眠も6時間以寝ている生徒が83.2%おり、基本的な生活習慣などはできている。

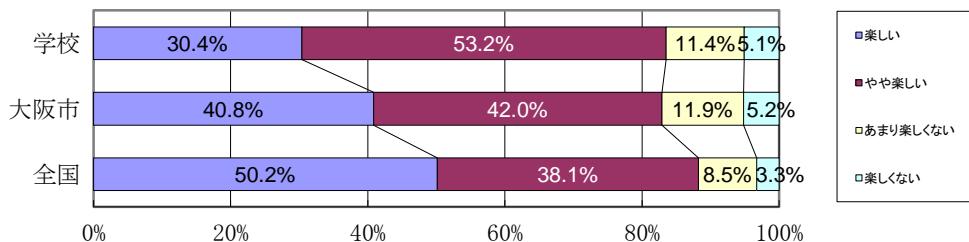
今後の取組

「あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。」の項目に93.4%の生徒が肯定的に回答したものの健康を維持するためにスポーツが大切であることをもう少し理解する必要がある。

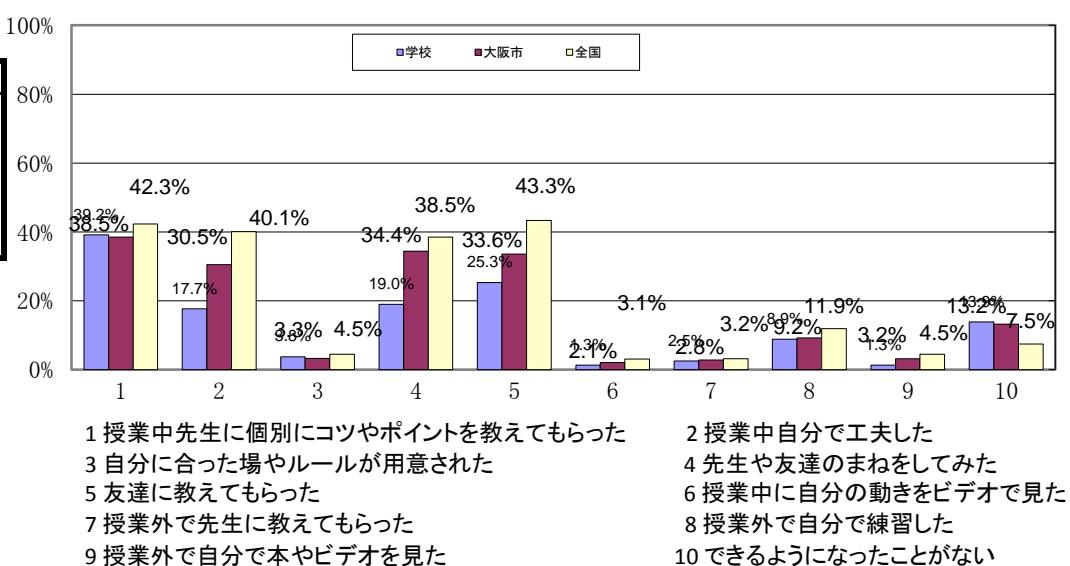
保健体育の授業について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

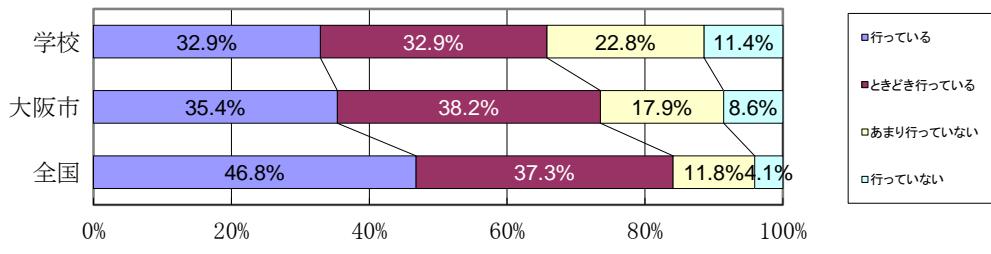
16	保健体育の授業は楽しいですか。
----	-----------------



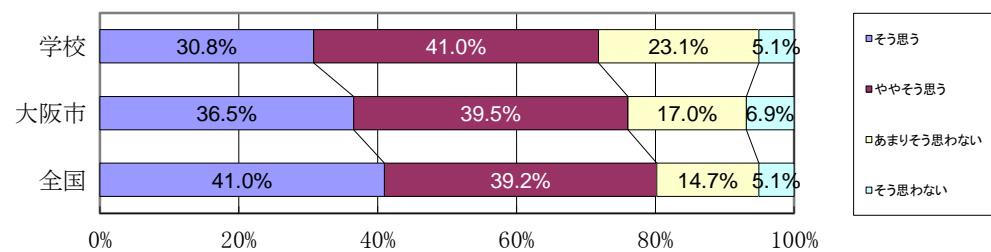
21	これまでの体育の授業で「できなかつたができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか。
----	--



19	ふだんの保健体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。
----	--



23	今、保健体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。
----	--



成果と課題

「保健体育の授業は楽しいですか」の項目について83.6%の生徒が肯定的に回答し、大阪市平均を上回っているが、全国平均には至っていない。集団行動を培うことを推進しているが、生徒に興味・関心が高まる工夫をする必要がある。

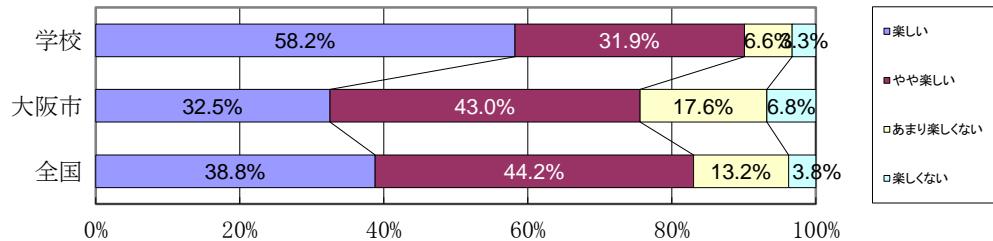
今後の取組

生徒が保健体育の授業を通して、運動やスポーツをすることの楽しさや協力することの大切さを身に着ける。

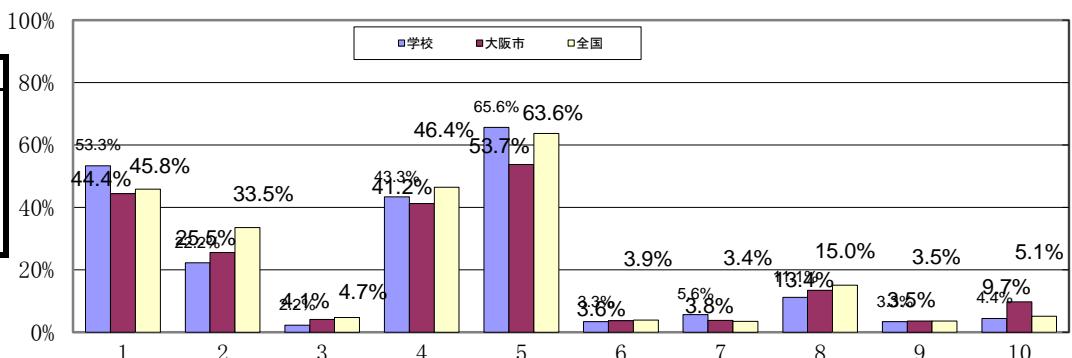
保健体育の授業について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

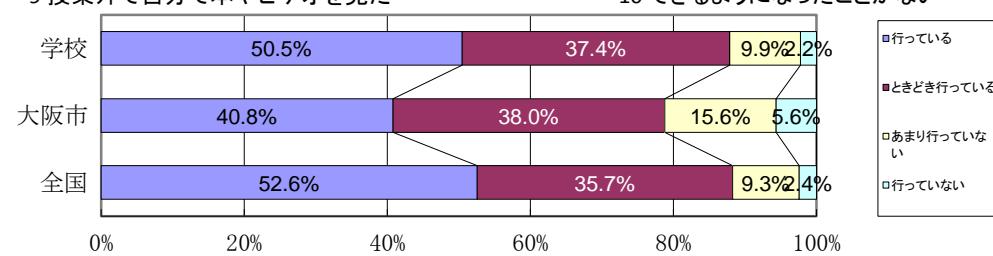
16
保健体育の授業は楽しいですか。



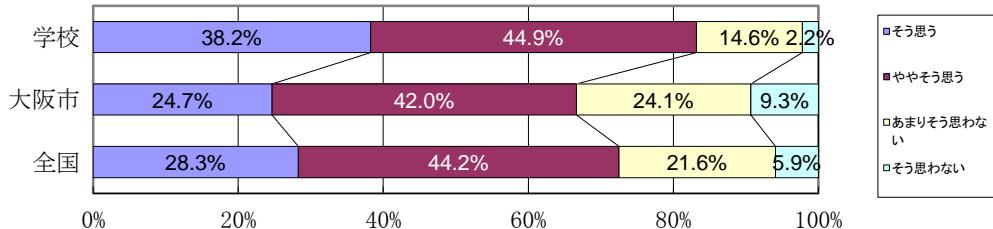
21
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか。



19
ふだんの保健体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。



23
今、保健体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。



成果と課題

「保健体育の授業は楽しいですか」の項目について90.1%の生徒が肯定的に回答し、全国、大阪市平均とも上回った。また、ふだんの体育の授業で互いに助け合っており、スポーツを通して協力することの大切さも身についている。

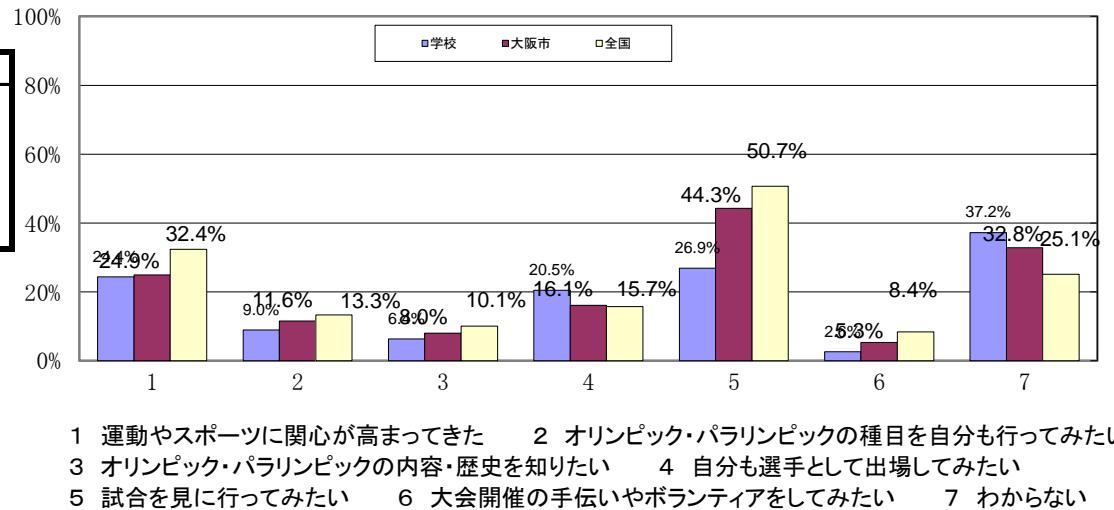
今後の取組

「今、保健体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。」の項目について83.1%の生徒が肯定的に回答し、保健体育の授業を通して運動やスポーツの大切さをさらに高揚する。

その他（男子）

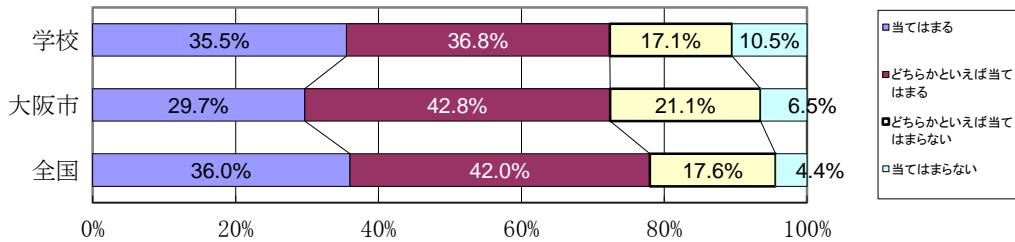
質問番号

質問事項



31

難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。



成果と課題

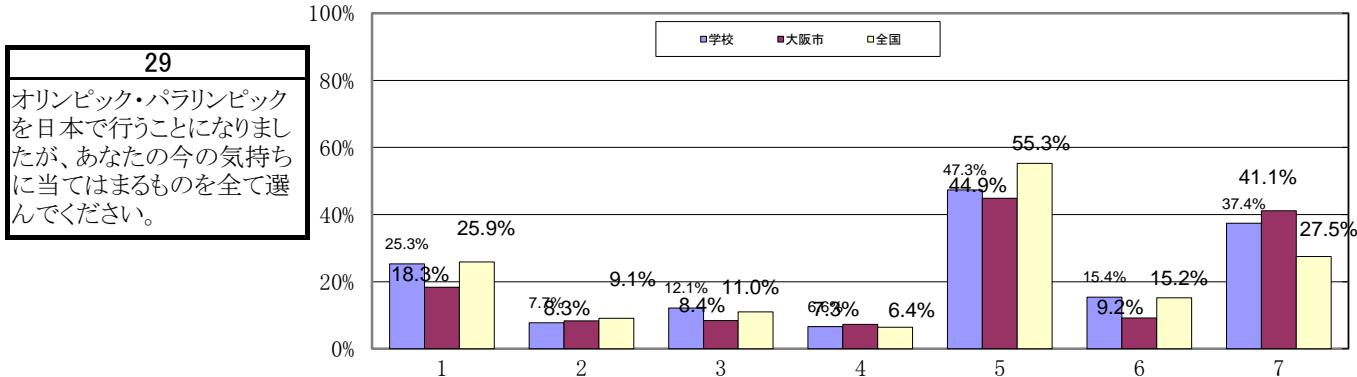
「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」の項目について72.3%の生徒が肯定的に回答したが、大阪市、全国平均には至っていない。運動やスポーツを通し、チャレンジすることの大切さを身に付け、体力の保持増進の必要性を理解する必要がある。

今後の取組

オリンピック・パラリンピックが日本で行われることからスポーツに対する興味・関心を持たせ、生涯スポーツの大切さを伝える必要がある。

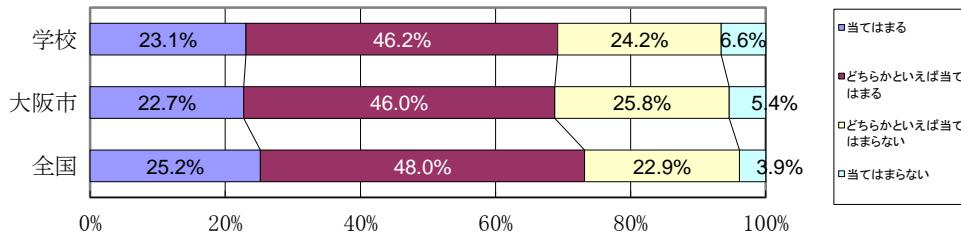
その他（女子）

質問番号	質問事項
------	------



- 1 運動やスポーツに関心が高まってきた 2 オリンピック・パラリンピックの種目を自分も行ってみたい
 3 オリンピック・パラリンピックの内容・歴史を知りたい 4 自分も選手として出場してみたい
 5 試合を見に行ってみたい 6 大会開催の手伝いやボランティアをしてみたい 7 わからない

31 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。



成果と課題

「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」の項目について69.3%の生徒が肯定的に回答し、大阪市平均は上回ったが、全国平均には至っていない。運動やスポーツを通して、チャレンジすることの大切さを身に付け、体力の保持増進の必要性を理解する必要がある。

今後の取組

オリンピック・パラリンピックが日本で行われることからスポーツに対する興味・関心を持たせ、生涯スポーツの大切さを伝える必要がある。